

# DX Digital Transformation

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面で良い方向に変更させることで、自治体においては、ICTを活用し、「市民の利便性向上」や「業務プロセスの再構築」を行うことです。

## まちを変える 未来が変わる

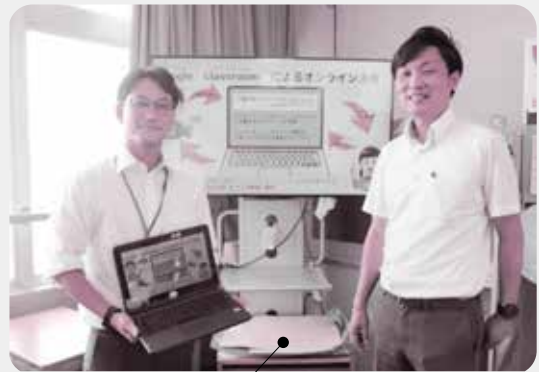
岡学校教育課 ☎・有(582)1141 FAX(582)9441

### 市立小中学校でもDX化が進んでいます

国の示すGIGAスクール構想の実現に向けて、令和2年12月に市立小中学校の児童生徒に1人1台の端末が行きわたるよう整備しました。

本市では、ノートパソコンとしてもタブレットとしても使えるタイプの「クラウドブック」を採用し、あわせてAIドリル「すらら」を導入しました。

GIGAスクールの「GIGA」とは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境」のことです。



学校のICT活用を担当している  
西村 幸太さん(左：学校教育課 指導主事)と  
金田 泰秀さん(右：速野小学校 教諭)

### 小学校のICT活用の実例(速野小学校)



教科書の共有



リモート授業



AIドリル



カラー資料

各校でのICTの活用方法は異なります。今回は、速野小学校でのICT活用について伺いました。

#### 〈ICTを活用した授業〉

タブレットや大型ディスプレイなどICT技術の導入により、授業の「双方向性」が向上しました。これらを活用することで、資料などに子どもが書き込んだ回答や意見、感想なども瞬時に共有できます。班ごとの学習や共同作業もやりやすくなりました。教師が用意した鮮やかなカラー資料を、手間も費用もかけずに共有できるようになりました。

#### 〈AIドリルでの学習〉

端末と同時に導入されたAIドリル「すらら」は、普段の学習だけでなく、夏休みの課題で

も活用されています。児童生徒一人ひとりの間違えた問題をAIが判断して、類似問題などを出題・解説してくれるので、自分の苦手に気が付きやすいとされています。

#### 〈生活状況の確認〉

「夏休みの生活表」を電子化することによって、毎日の感想や宿題の進捗状況をリアルタイムで確認することができます。また、教師からも「がんばったね」などコメントを返すことができ、双方向のコミュニケーションを図ることができます。